Technics®



写真は SU-A808 です。

ステレオインテグレーテッドアンプ
取扱説明書

SU-A808
品番 SU-A707



保証書別添付

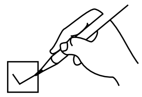
このたびは、ステレオインテグレーテッドアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

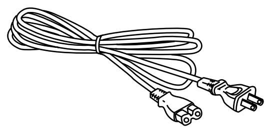
RQT5117-S

付属品の確認



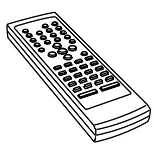
設置、接続の前に、まず付属品を確かめてください。

□ 電源コード ....1 本



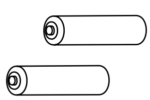
（SJAD7）

□ リモコン ....1 個



（RAK-SUA11WH）

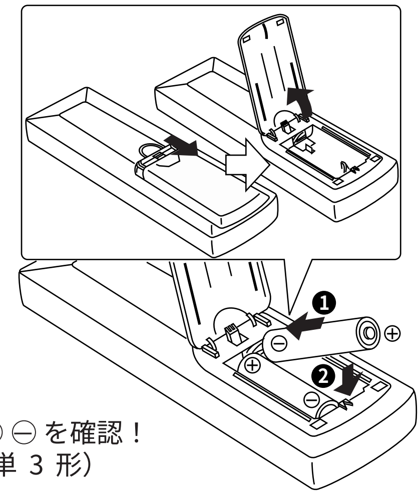
□ リモコン用乾電池 ....2 個



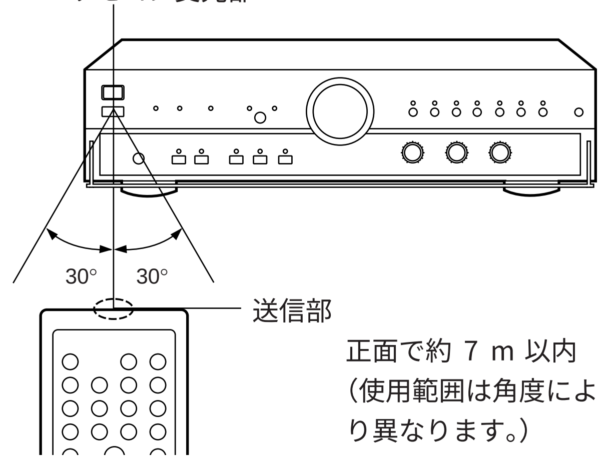
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
カッコ（　）内は買い替え時の品番です。

リモコンについて

乾電池の入れかた



リモコンの使いかた



■ 使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコン先端のほこりに注意。

■ 故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）**

⚠	この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

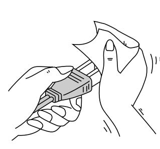
電源コード

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

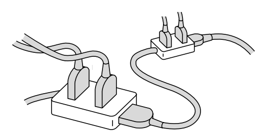
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



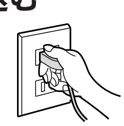
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

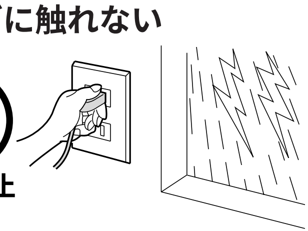
分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

接触禁止



- 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

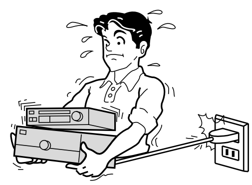
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

使用方法

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

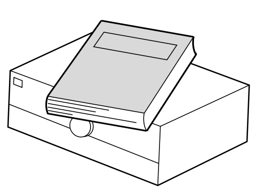
設置・接続

以下のことを守り正しく設置する

- **不安定な場所に置かない**
- **上に大きなもの重いものを載せない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない

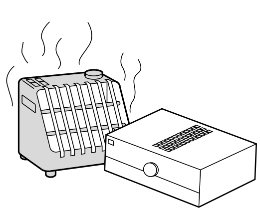


- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

乾電池

以下のことを守り正しく取り扱う

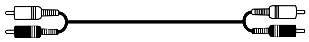
- **＋と－は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

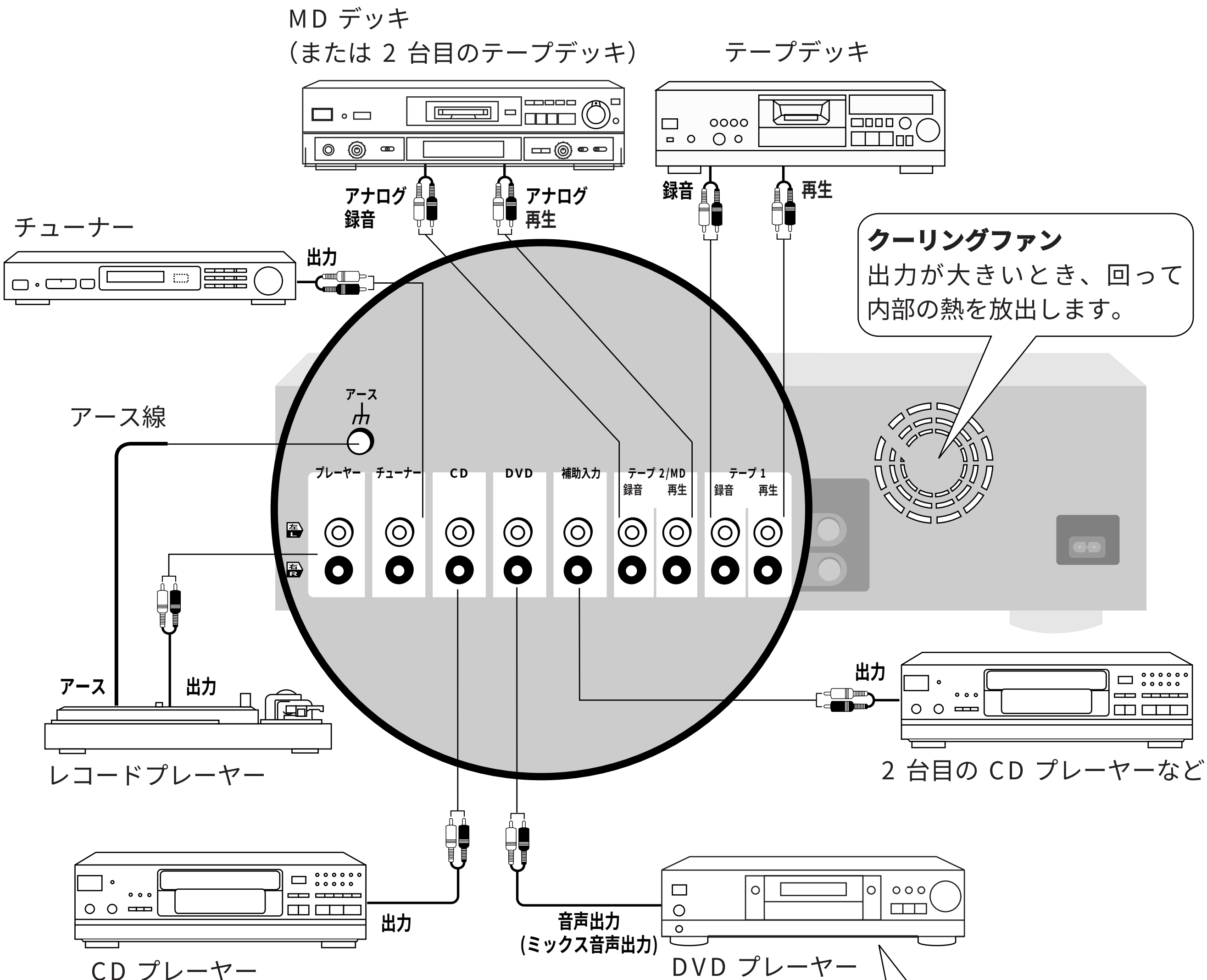
接続のしかた

各機器（別売り）との接続

ステレオピンコード（別売り）の接続は

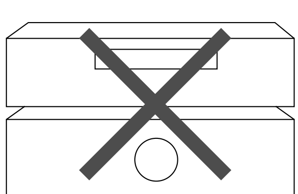


白色は左（L）端子へ
赤色は右（R）端子へ



お願い

本機の上にテープデッキ、CD プレーヤーや DVD プレーヤーを載せないでください。カセットテープや CD などのソフトが熱で損傷を受けることがあります。

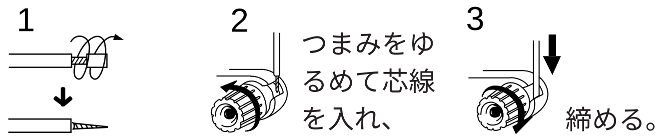


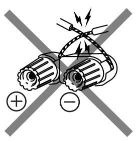
お知らせ

DVD プレーヤーを接続するときは、DVD プレーヤーの “ ミックス音声出力端子 ” に接続してください。
“ ミックス音声出力端子 ” がない場合はフロントスピーカーの L（左）R（右）端子に接続し、DVD プレーヤーのスピーカー設定を 2 チャンネル出力に設定してください。
（詳しくは DVD プレーヤーの説明書をご覧ください。）

スピーカー（別売り）と電源コード（付属）の接続

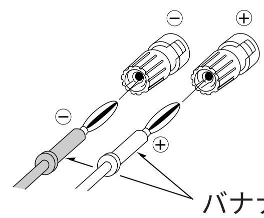
本機のプラス（+）とスピーカーのプラス（+）、本機のマイナス（−）とスピーカーのマイナス（−）を合わせて接続してください。

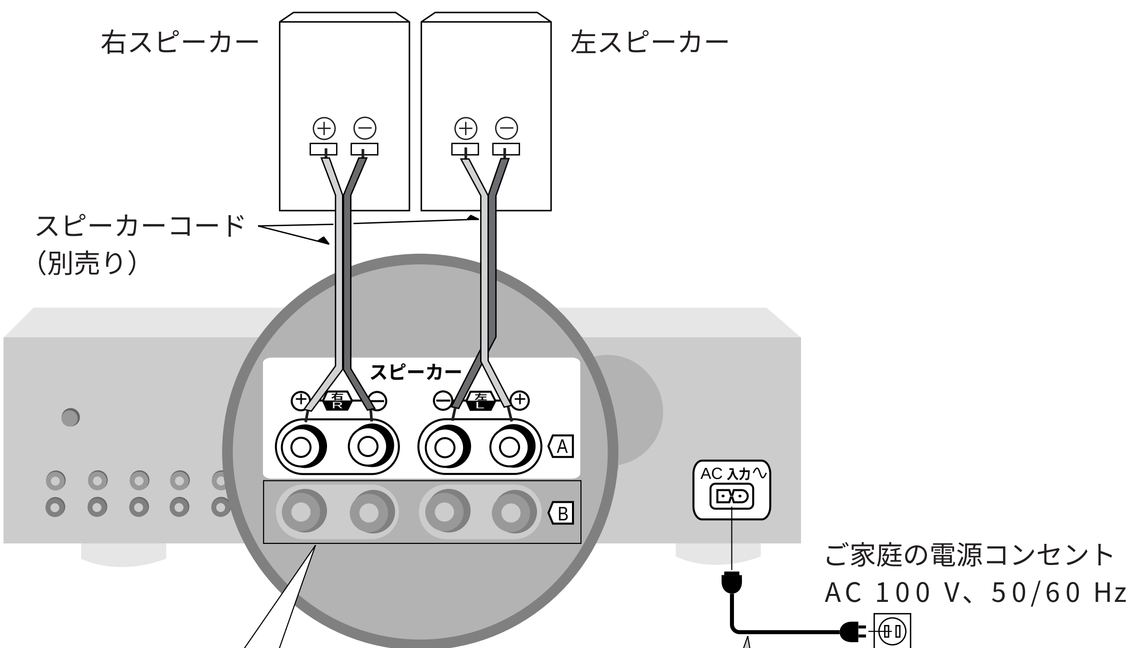




お願い
スピーカーコードの（+）と（−）をショートさせないようにしてください。

バナナ（4 mm）プラグをお使いの場合は、端子つまみを完全に閉めた状態で正面の穴から差し込んでください。





「B」端子
２組目のスピーカーを接続できます。

電源コード（付属）
他の接続がすべて終わってから、最後にコンセントへ接続してください。

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

本機を長期間使用しない場合は
節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
「POWER」で電源を切った状態またはリモコンでOFF にした状態でも、約1.5 W の電力を消費しています。

■ スピーカーインピーダンス

次のインピーダンスのスピーカーをご使用ください。

「A」か「B」を単独で使用するとき
（バイワイヤリングを含む）　：４〜１６Ω
「A」と「B」を同時に使用するとき
：８〜１６Ω

演奏を楽しむ

まず［VOLUME］を“MIN”(最小）にし、[PUSH OPEN]を押して前カバーを開けてください。

1 [POWER] を押して
電源を入れる。
約４秒後に“OPERATION”ランプが点灯します。

2 SPEAKERS [A] または [B] を押して
使用するスピーカーシステムを選ぶ。
選んだ方のランプが点灯します。A, B とも使用する場合は、両方のランプを点灯させてください。

3 **[SOURCE] を押す。**
“SOURCE”ランプが点灯します。

4 入力選択ボタンを押し
演奏するソースを選ぶ。
選んだソースの入力表示ランプが点灯します。
TAPE 1: テープデッキ
TAPE 2/MD: 2 台目のテープデッキまたは MD デッキ
AUX: “補助入力”端子に接続した機器
DVD: DVD プレーヤー
CD: CD プレーヤー
TUNER: チューナー
PHONO: アナログプレーヤー

5 **ソースの演奏を始める。**
それぞれの演奏機器の説明書をご覧ください。

6 [VOLUME] を回して
音量を調整する。

演奏を楽しんだ後は
[VOLUME] を最小に戻してから、[POWER] を押して電源を切って下さい。

左右の音量バランスを調整する A

[BALANCE] を回して調整する。

音質を調整する B

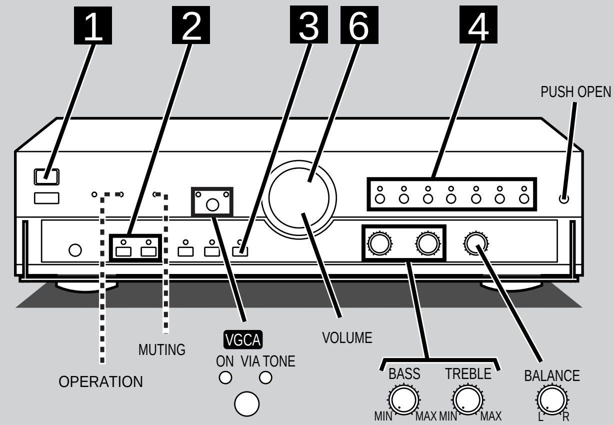
① **[VGCA] を押す。**
“VIA TONE”ランプが点灯します。
② **[BASS] を回して低音を調整する。**
[TREBLE] を回して高音を調整する。

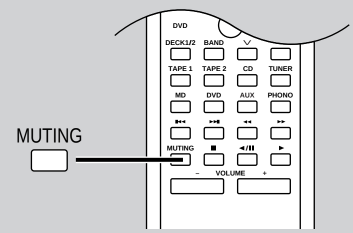
元の音質（調整していない状態）に戻すには
[VGCA] を押して VGCA 回路を「入」にする。
“ON”ランプが点灯します。通常はこの状態で使用します。

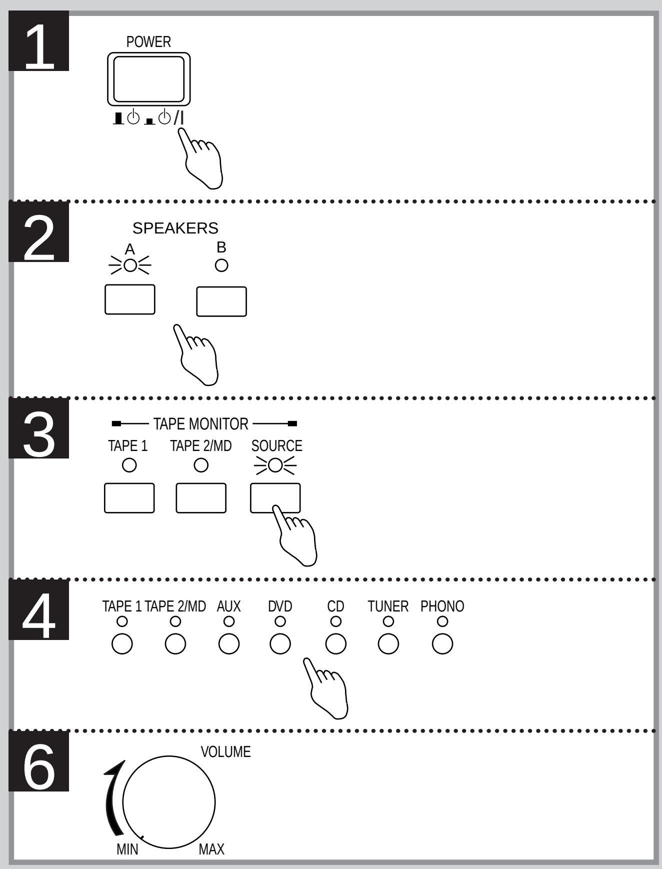
一時的に消音する（ミューティング） C

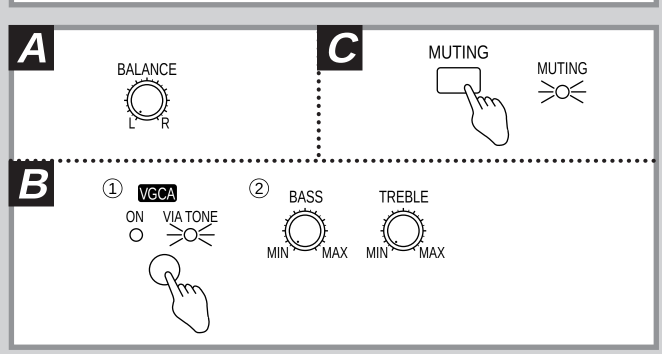
リモコンのみ
[MUTING] を押す。
本体の“MUTING”ランプが点灯します。
もう一度押すと、“MUTING”ランプが消え、[VOLUME] つまみが示す音量に戻ります。

お知らせ
電源を切ると、ミューティングは解除されます。









録音する A

本機後面の“ テープ 1 ”“ テープ 2/MD ” 端子に接続したテープデッキや MD デッキで録音できます。

1 [SOURCE] を押す。
“ SOURCE ” ランプが点灯します。

2 入力選択ボタンを押し
録音するソースを選ぶ。
AUX:“ 補助入力 ” 端子に接続した機器
DVD: DVD プレーヤー
CD: CD プレーヤー
TUNER: チューナー
PHONO: アナログプレーヤー

3 デッキで録音を始め、ソースを演奏する。

“ TAPE 1 ” と “ TAPE 2/MD ” の間で録音する

“ TAPE 1 ” から “ TAPE 2/MD ” へ、またその逆へ録音を行うことができます。

“ TAPE 1 ” から “ TAPE 2/MD ” へ録音するには
① [SOURCE] を押す。
② 入力選択ボタン の [TAPE 1] を押す。
③ 録音を始めた後、演奏を始める。
“ TAPE 2/MD ” から “ TAPE 1 ” へ録音するには
手順 ② で、[TAPE 2/MD] を押す。

テープをモニターする B

3 ヘッドのテープデッキをご使用の場合は、録音中にテープに録音された音を聞くことができます。

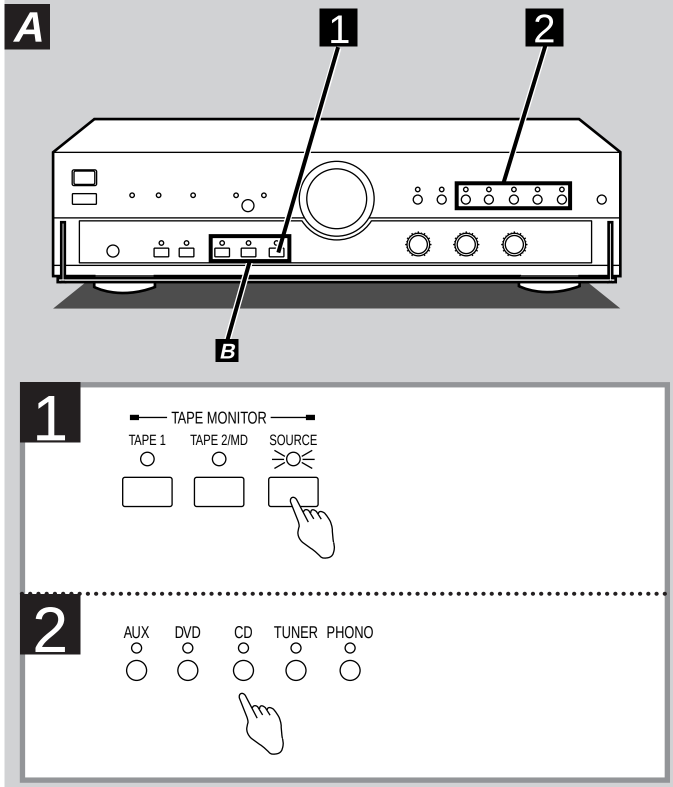
テープモニターの [TAPE 1] または
[TAPE 2/MD] を押して
録音するデッキを選び、デッキ側のテープモニタースイッチを “ TAPE ” にする。
TAPE 1: “ TAPE 1 ” のデッキで録音するとき
TAPE 2/MD: “ TAPE 2/MD ” のデッキで録音するとき

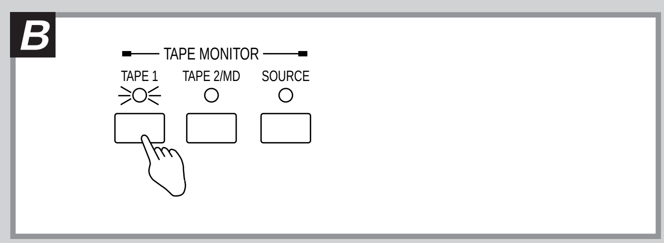
お願い
テープモニター終了後は、必ず [SOURCE] を押してください。“ SOURCE ” ランプが点灯します。

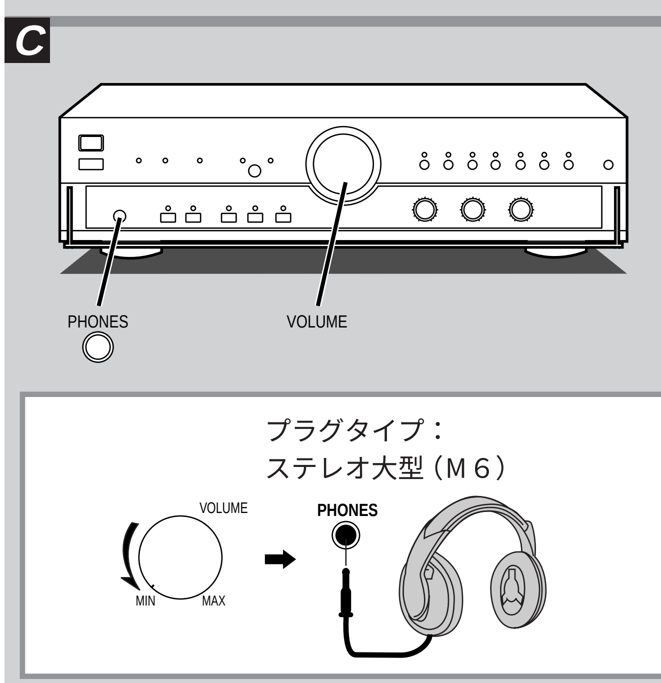
ヘッドホン（別売り）で聞く C

[VOLUME] をしぼってから、ヘッドホンを接続する。
スピーカーからの音が不要な場合は、SPEAKERS [A] または [B] を押してランプを消灯させてください。

お願い
耳を刺激するような大きな音で長時間聞くことは避けてください。



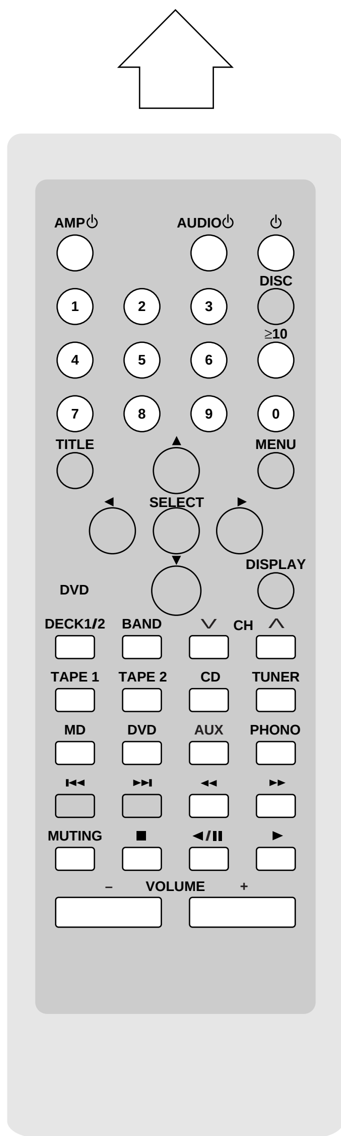




リモコンを使う

本機の他、現在販売されている当社製のチューナーや CD プレーヤー、MD デッキ、カセットデッキ、DVD プレーヤーを本リモコンで操作できます。(現在販売されていない機器の中には、一部操作できないものもあります。)
各操作について詳しくはそれぞれの機器の説明書をご覧ください。
リモコンでの電源入は、各機器がスタンバイ状態のとき（本機では⏻ランプ点灯時）のみ可能です。

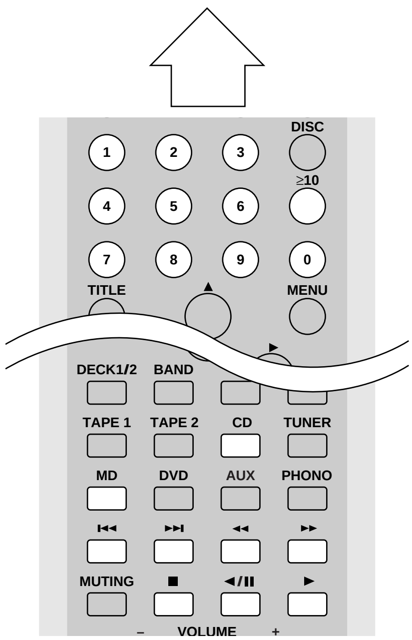
各機器に向けて



基本操作		
オーディオ機器の電源の入／切	**アンプの電源の入／切**	AMP⏻
	オーディオ機器個々の電源の入／切	⏻　リモコンの入力選択ボタン押してリモコンの操作モードを切り換えてから押してください。
	オーディオ機器全体の電源の切	AUDIO⏻
入力ソースを選ぶ		TAPE 1 TAPE 2 CD TUNER MD DVD AUX PHONO (➡8ページ)
消音		MUTING (➡8ページ)
音量の調節		– VOLUME +
ラジオを聞く　まず [TUNER] を押してください		
FM、AM を選ぶ		BAND　押すたびに切り換わります
チャンネルの選択	**順番に選ぶ**	∨ CH ∧
	直接選ぶ	1 2 3 4 5 6 ≥10 7 8 9 0 (例：チャンネル１) 1 (例：チャンネル１０) ≥10 ➡ 1 ➡ 0
カセットテープを聞く まず [TAPE 1] または [TAPE 2] を押してください		
おもて面から再生する		▶
うら面から再生する (リバース機能のあるカセットデッキのみ)		◀/II
デッキ１とデッキ２を切り換える(ダブルカセットデッキのみ)		DECK1/2
早送り／巻戻しをする		◀◀ ▶▶
再生を停止する		■

CD や MD を聞く　まず [CD] または [MD] を押してください

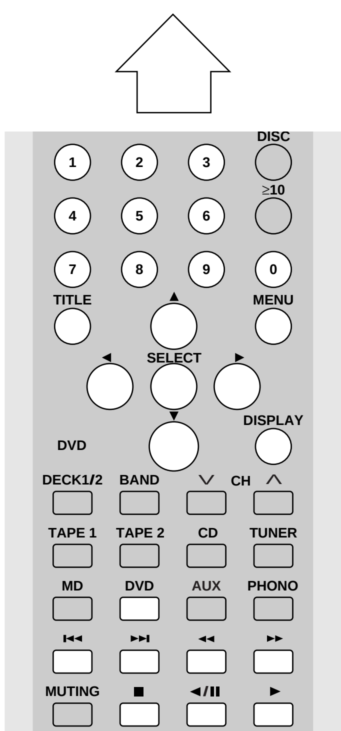
CD プレーヤーまたは MD デッキに向けて



再生を始める	▶
好みの曲を選ぶ	1 2 3 ≥10 / 4 5 6 / 7 8 9 0 （例：曲番１） 1 （例：曲番１０） ≥10 ➡ 1 ➡ 0 （例：曲番２３５ MD のみ） ≥10 ➡ ≥10 ➡ 2 ➡ 3 ➡ 5
曲を飛び越す（スキップ）	⏮ ⏭
早送り／早戻しをする（サーチ）	◀◀ ▶▶
一時停止する	◀/II　もう一度再生するときは [▶] を押してください。
再生を停止する	■

DVDを見る　まず [DVD] を押してください

DVDプレーヤーに向けて



再生を始める	▶
タイトルを選ぶ	TITLE ➡ ▲▼◀▶ ➡ SELECT
メニューを使う	MENU ➡ ▲▼◀▶ ➡ SELECT
GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）画面を使う （GUI 画面操作ができる機種。詳しくはお手持ちのプレーヤーの説明書をご覧ください。）	DISPLAY ➡ ◀ ▶ ⬇ ▲▼ または 1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 0 ⬅ SELECT
再生中 **早送り／早戻しをする**	◀◀ ▶▶　押すたびに速度（５段階）が速くなります。
静止中 **スロー再生する**	◀◀ ▶▶　押すたびにスロー速度（５段階）が速くなります。
見たい場所を探す	⏮ ⏭
静止（一時停止）する	◀/II　繰り返して押すとコマ送り再生できます。 もう一度再生するときは [▶] を押してください。
再生を停止する	■

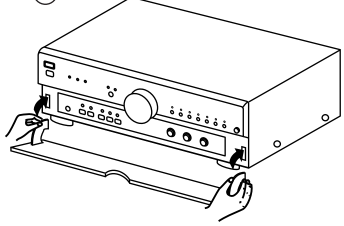
故障かな！？

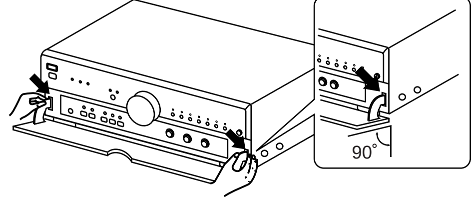
修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む。	7
電源を入れ、ソースの演奏を始めても音が出ない。	TAPE MONITOR の“TAPE 1”または“TAPE 2/MD”ランプが点灯していませんか。	[SOURCE] を押して“SOURCE”ランプを点灯させる。	8
	スピーカーや他の機器と正しく接続されていますか。	正しく接続する。	6、7
	SPEAKERS ランプ（A、B）が消灯していませんか。	SPEAKERS [A] または [B]ボタンを押してランプを点灯させる。	8
	入力選択ボタンを押して、正しいソースを選んでいますか。	入力選択ボタンを押して、正しいソースを選ぶ。	8
	“MUTING”ランプが点灯していませんか。	リモコンの [MUTING] を押して“MUTING”ランプを消灯させる。	8
片側のスピーカーだけ音が出ない。	[BALANCE] の位置が左右どちらかに片寄り過ぎていませんか。	左右スピーカーの中央から音が聞こえるようにする。	8
ステレオのとき、各楽器の位置が定まらない。	スピーカーコードを+、－逆に接続していませんか。	正しく接続する。	6、7
左右の音が逆になる。	各機器またはスピーカーコードの接続が左右逆になっていませんか。		
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバズ音）が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	—
音が出ない。	“OPERATION”ランプが消灯していませんか。（消灯しているときは、スピーカーコードのショートや、出力に直流電圧が発生したなどの原因により、本機の保護回路が働いています。）	まず電源を切り、各機器（特にスピーカー）の接続部でショートしていれば正しく接続し直し、電源をいれる。	—
電源をいれたときまたは再生中に“OPERATION”ランプが消灯し、スタンバイランプが点灯する。	本機の内部回路に何らかの問題が生じている可能性があります。	お買い上げの販売店にご相談ください。	—

前カバーがはずれたときは

① 図のように前カバーを差し込みます。
② 前カバーを、カチッと音がしてはまり込むまでしっかりと押し下げてください。
③ 正しく開閉できるか確かめてください。

①


②


各部のなまえ

MUTING（消音）ランプ
(➡ 8 ページ)

入力選択ボタン／表示ランプ
(➡ 8 ページ)

OPERATION（動作確認）ランプ（➡ 8 ページ）

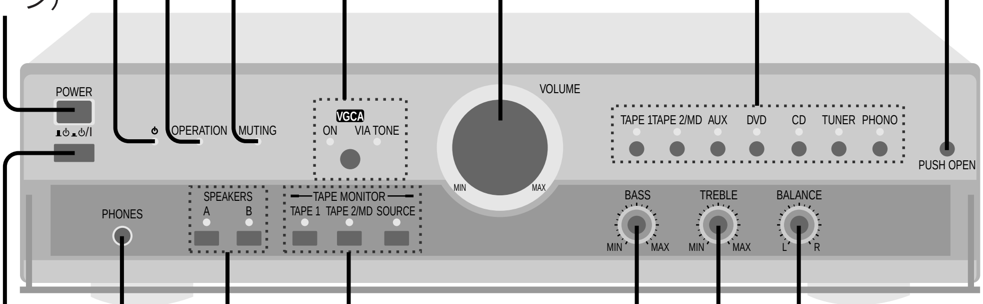
PUSH OPEN（前カバー開）ボタン
ボタンを押すとカバーが開きます。
閉じるときは手で閉じてください。

VOLUME（音量調節）つまみ（➡ 8 ページ）

⏻（スタンバイ）ランプ
(➡ 10 ページ)

VGCAボタン／ランプ
(➡ 8 ページ)

POWER（電源）ボタン（➡ 8 ページ）



リモコン受光部
(➡ 2 ページ)

BALANCE（左右音量バランス調整）つまみ（➡ 8 ページ）

PHONES（ヘッドホン）端子
(➡ 9 ページ)

TREBLE（高音調節）つまみ
(➡ 8 ページ)

SPEAKERS 選択ボタン（➡ 8 ページ）

BASS（低音調節）つまみ
(➡ 8 ページ)

TAPE MONITORボタン／ランプ
(➡ 8 ページ)

“⏻”ランプについて
リモコンの [AMP ⏻] または [AUDIO ⏻] ボタンで電源を切ると点灯します。
これはリモコンによる電源動作のために、電源を切った後も微量の電力消費が行われていることを示しています。

OPERATION（動作確認）ランプについて
本機が正常に動作していることを示しています。

VGCA回路
本機は VGCA（Variable Gain Control Amplifier）回路を搭載しています。
これは従来の入力ボリュームで信号を絞りその後増幅するという構成ではなく、アンプの増幅率そのものを変える方式です。
その結果、実使用状態で信号対雑音比（SN 比）を 約10 dB 改善しました。（従来比）

お手入れ

本体が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書 （別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 修理を依頼されるとき

12 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、ステレオインテグレーテッドアンプの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金のしくみ**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

0120-878-365 (パナは 365日)

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0699

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

- **札幌** ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
- **旭川** ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号
- **帯広** ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
- **函館** ☎ (0138)48-6631 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

- **青森** ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37
- **秋田** ☎ (018)826-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2
- **岩手** ☎ (019)639-5120 盛岡市羽場13地割30-3
- **宮城** ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
- **山形** ☎ (023)641-8100 山形市流通センター3丁目12-2
- **福島** ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

- **栃木** ☎ (028)689-3321 宇都宮市御幸町194-20
- **群馬** ☎ (027)352-1217 高崎市萩原町沖中205-18
- **水戸** ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2
- **つくば** ☎ (0298)64-8090 つくば市花畑2丁目8-1
- **埼玉** ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
- **千葉** ☎ (043)208-6011 千葉市中央区星久喜町172
- **船橋** ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7
- **柏** ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
- **東京** ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
- **山梨** ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
- **神奈川** ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
- **新潟** ☎ (025)286-7725 新潟市東明1丁目8-14

中部地区

- **石川** ☎ (076)294-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
- **富山** ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298
- **福井** ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112
- **長野** ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7
- **静岡** ☎ (054)287-9000 静岡市西島765
- **名古屋** ☎ (052)819-0225 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
- **岡崎** ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
- **岐阜** ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
- **高山** ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
- **三重** ☎ (059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

- **滋賀** ☎ (077)582-5021 守山市勝部町6丁目2-1
- **京都** ☎ (075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1
- **大阪** ☎ (06)6359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7
- **奈良** ☎ (0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2
- **和歌山** ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
- **兵庫** ☎ (078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

- **鳥取** ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1
- **米子** ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33
- **松江** ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19
- **出雲** ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416
- **浜田** ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町327-93
- **岡山** ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
- **広島** ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
- **山口** ☎ (0839)86-4050 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

- **香川** ☎ (087)868-9477 高松市勅使町152-2
- **徳島** ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
- **高知** ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
- **愛媛** ☎ (089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

- **福岡** ☎ (092)593-9036 春日市春日公園3丁目48
- **佐賀** ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2
- **長崎** ☎ (095)830-1658 長崎市東町1949-1
- **大分** ☎ (097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35
- **宮崎** ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
- **熊本** ☎ (096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
- **天草** ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
- **鹿児島** ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-33
- **大島** ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

- **沖縄** ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

定格出力
[SU-A808]
60 W＋60 W (20 Hz〜20 kHz, 0.03 %, 8 Ω)
70 W＋70 W (20 Hz〜20 kHz, 0.03 %, 6 Ω)
[SU-A707]
40 W＋40 W (20 Hz〜20 kHz, 0.03 %, 8 Ω)
50 W＋50 W (20 Hz〜20 kHz, 0.03 %, 6 Ω)
定格ひずみ率 0.03 %
(20 Hz〜20 kHz, CD IN, 定格出力、8 Ω)
全高調波ひずみ率 0.03 % (20 Hz〜20 kHz, CD IN, 定格出力 −3 dB, 8 Ω)
ダンピングファクタ 60 (8 Ω)
負荷インピーダンス
A、B 4〜16 Ω
A と B 8〜16 Ω
ライン入力周波数特性
TUNER, CD, DVD, AUX, TAPE 1, TAPE 2/MD
3 Hz〜100 kHz (+0 dB, −3 dB)
20 Hz〜20 kHz (+0 dB, −0.3 dB)
イコライザ偏差 30 Hz〜15 kHz (+1 dB, −1 dB)
入力感度／入力インピーダンス
TUNER, CD, DVD, AUX, TAPE 1, TAPE 2/MD
150 mV/22 kΩ
PHONO MM 2.5 mV/47 kΩ

最大許容入力電圧（PHONO）
MM 150 mV (0.01 %)
信号対雑音比（SN 比）
TUNER, CD, DVD, AUX, TAPE 1, TAPE 2/MD
98 dB (EIAJ), 100 dB (IHF ’66)
114 dB (S = 2 V、定格出力時、IHF A)
PHONO MM 80 dB (EIAJ), 76 dB (IHF ’66)
トーンコントロール特性
BASS ＋10 dB, −10 dB (50 Hz)
TREBLE ＋10 dB, −10 dB (20 kHz)
ミューティング特性 (リモコンのみ) −∞
定格出力電圧
TAPE 1, TAPE 2/MD REC OUT 150 mV

■ 総合

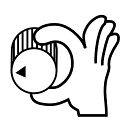
電源 AC100 V, 50/60 Hz
消費電力 [SU-A808] 160 W
[SU-A707] 130 W
寸法 (幅×高さ×奥行) 430×136×368 mm
質量 [SU-A808] 8.3 kg
[SU-A707] 7.4 kg

本機電源 OFF 時または リモコン OFF 時の消費電力	**約 1.5 W**

注) 1. この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2. 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる 10 次高調波までの総和です。

音のエチケット

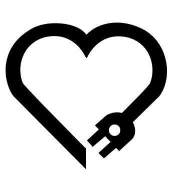
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。 特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用の「ステレオインテグレーテッドアンプ」の点検を!



このような症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	**このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販 売 店 名	☎ (　　) −	**お買い上げ日**	**年　月　日**
お 客 様 ご相談窓口	☎ (　　) −	**品　　番**	**SU-A808 SU-A707**

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5117-S
H0899MK1109 (D)